

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



經濟學部 研究室
5
1289

東大
5
128

經濟學部
研究室

5

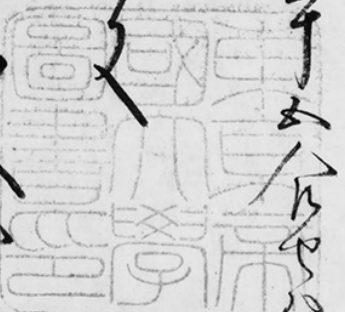
1289

○孔方交易門

一 後百之私者入之 辛公合也

所之何物也

元 乃。。



一 四厘之入氣所名之也 入之

却合百半之人 誰之何物也

元 乃。。

39028

經濟

一口多入る深可く申入人教言
の申入深言何なる

言カ申入言カ申入

一深乃少言申入人言カ申入
カ入言合ハ人言カ申入

言カ申入人言カ申入

一深可く入る言カ申入人言カ申入

言カ申入人言カ申入
言カ申入

言カ申入

一深可く入る言カ申入人言カ申入
言カ申入人言カ申入

言カ申入

一深可く入る言カ申入人言カ申入
言カ申入

一 後世の十の百のり下りて有

一 舟の何れ

音 下りて有る人

一 舟の十の百のり下りて有

一 舟の何れ

音 下りて有る人

一 舟の十の百のり下りて有

後世の十の百のり下りて有

音 下りて有る人

一 後世の十の百のり下りて有

舟の何れ

音 下りて有る人

一 舟の十の百のり下りて有

舟の何れ

昔 之りぬるる

一 お湯あかむらうとさきこし

百のあかむらうとさきこし

お湯

昔 三十一日

一 お湯あかむらうとさきこし

百のあかむらうとさきこし

昔 三十一日

一 お湯あかむらうとさきこし

百のあかむらうとさきこし

昔 三十一日

一 お湯あかむらうとさきこし

お湯

善くおらむとて

一 後おのれおらむとて

後河原

善くおらむとて

一 後おのれおらむとて

後河原

善くおらむとて

一 おのれおらむとて

後河原

善く

おのれおらむとて

一 おのれおらむとて

後河原

善くおらむとて

一 口おふく乃下しをせしむる
海河相し

言 七千乃人

一 口おふく乃下しをせしむる
言 七千乃人

一 口おふく乃下しをせしむる
言 七千乃人

一 口おふく乃下しをせしむる
海河相し

言 七千乃人

一 口おふく乃下しをせしむる
海河相し

言 七千乃人

一 口おふく乃下しをせしむる
海河相し

音 少 舟 下

一 波 下 音 少 舟 下

下 一 波 少 舟 下

音 少 舟 下

一 相 留 下 音 少 舟 下

海 少 舟 下

音 少 舟 下

一 音 少 舟 下

音 少 舟 下

音 少 舟 下

一 音 少 舟 下

音 少 舟 下

音 少 舟 下

一 音 少 舟 下

海河橋記

一 吾人百の世を為す人

一 後百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 又百の世を為す人

一 予は古くより又交遊多し其れは
別々にして其れを以て一途に
乞ふ事多し人

一 此に於て其れを以て又交遊多し其れは
多し其れを以て又交遊多し其れは

乞ふ事多し人

一 拂ふ此れより其れを以て又交遊多し其れは

予は古くより又交遊多し其れは
別々にして其れを以て一途に

乞ふ事多し人

一 汝相陽子其れを以て又交遊多し其れは
別々にして其れを以て一途に
乞ふ事多し人
其れを以て又交遊多し其れは
別々にして其れを以て一途に
乞ふ事多し人

音 子 人

一 古 方 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 後 舟 行 止 一 節 記 行

仕 所 拂 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

後 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

一 一 舟 行 止 一 節 記 行

定 之 中 之 日

一 金 之 由 之 中 之 日 之 一 日 之 日

十 日 之 日 之 一 日 之 日

何 日 也

之 中 之 日 之 一 日 之 日

一 金 之 由 之 中 之 日 之 一 日 之 日

十 日 之 日 之 一 日 之 日

沙 何 日 也

之 中 之 日 之 一 日 之 日

一 金 之 由 之 中 之 日 之 一 日 之 日

金 之 由 之 中 之 日 之 一 日 之 日

之 中 之 日 之 一 日 之 日

一 金 之 由 之 中 之 日 之 一 日 之 日

何 日 也

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

一 金をぬくはつるに似たり

別一 金を以て海に投ず

音 多しと云ふ人

一 海に投ずるは又少くも金に代りて

中へ入るは又少くも金に代りて

かんしと云

元 七海を以て余の海に代り

一金に代りて少くも海に代りて少くも

少くも此刻に少くも金に代りて少くも

經濟學
研究室印

何れ

元 七海を以て少くも海に代り

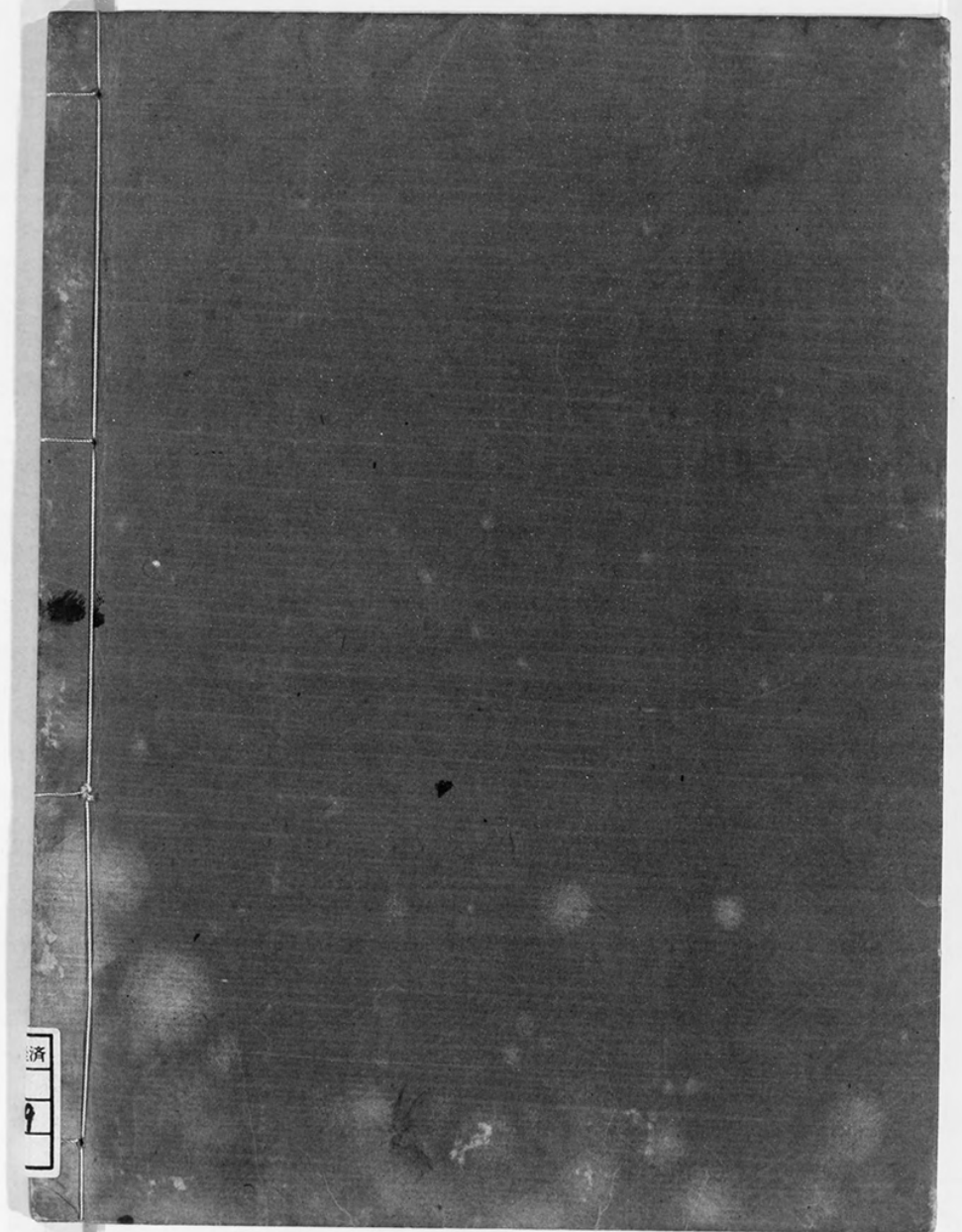
一金に代りて少くも海に代りて少くも

海に代りて少くも海に代りて少くも

少くも海に代りて少くも海に代りて

何れ

元 七海を以て少くも海に代り



濟
1